

単 独

令 和 8 年 度

見積用

簡易水道測量調査・実施設計委託業務その1

参考資料

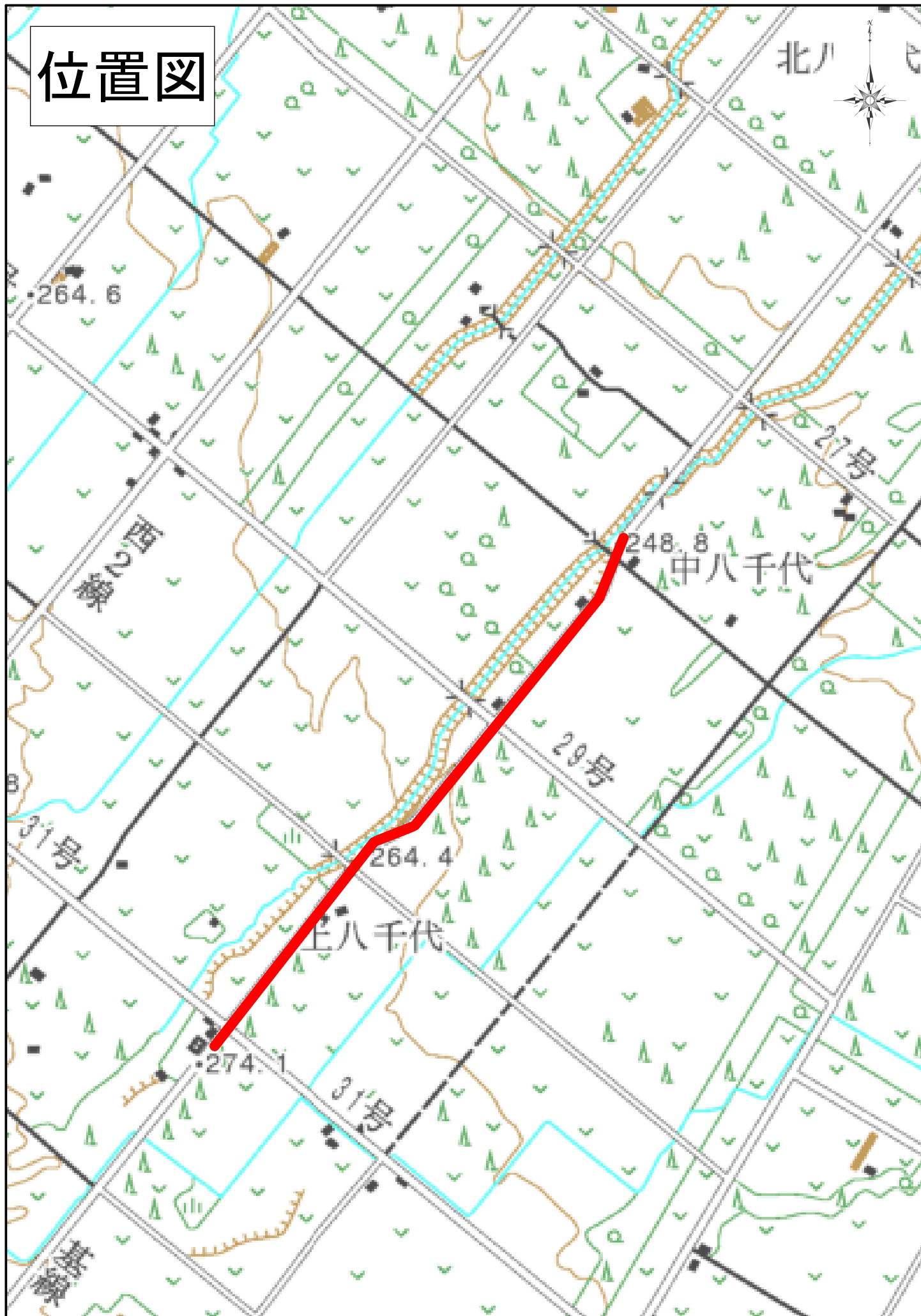
本資料は、入札額を算定する際に参考とする資料であり、契約上の制約を有するものではない。

帯広市公営企業

総括表

工 事 名	令和8年度 簡易水道測量調査・実施設計委託業務その1		
施 工 場 所	帯広市八千代町基線		
施 工 期 間	2026年5月20日 ~ 2026年11月30日	発 注 元	帯広市公営企業管理者
省 庁 名	上水委託	担 当 者	
工 事 コード			
工 事 価 格		請 負 工 事 価 格	
工 事 内 容	測量調査 L=1.80km 実施設計 φ350 L=1,170m φ300 L=630m		
備 考 欄			

位置図



0 100 200 300 400 500 m

1:13154

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を使用した。（承認番号 平24情使、第244-28225号）」

委 託 特 記 仕 様 書

北 海 道 帯 広 市

(上下水道部 技術室 水道課)

(2 0 2 6 . 2)

目 次

1. 委託名	P-1	7. 一般事項	P-2~3
2. 委託概要	P-1	8. 管理技術者等の資格について	..	P-4~5
3. 委託箇所	P-1	9. 業務内容	P-5~6
4. 委託期間	P-1	10. 提出書類等	P-7~10
5. 委託期間内終了業務	...	P-1			
6. 適用	P-2			

<チェックシート>

委託成果品作成チェックシート

委託成果品作成チェックシート図集

本特記仕様書は、次の委託業務に適用する。（各項目の口に○があるものが適用される。尚、口が無いものは、常に適用される。）

1. 委託名 : 簡易水道測量調査・実施設計委託業務その1

2. 委託概要

実施設計業務 : 配水管布設設計 φ300mm L=630m、φ350mm L=1,170m
 推進工設計
 仕切弁室設計
 試掘調査

測量調査業務 : 現況測量 φ300mm L=0.63 km、φ350mm L=1.17 km

3. 委託箇所 : 帯広市 八千代町基線

4. 委託期間 : 本委託の期間は令和8年11月30日迄とする

※ただし、委託期間内であっても、部分的に成果品を使用する場合がありますので、
甲「帯広市」と協議すること。

『帯広市工事執行規則 様式第2号（土木設計業務等委託）第31条第1項による』

5. 委託期間内終了業務 : 次の業務については、次の期日までに終了させること。

設計業務の内、道路管理者との占用協議は令和8年10月30日迄とする

6. 適用

本業務は、本特記仕様書によるほか、下記の仕様書を準用する。

(測量調査) 測量調査設計業務等共通仕様書(北海道建設部監修)

(設計)

〔設計業務総則・一般〕 測量調査設計業務等共通仕様書(北海道建設部監修)Ⅲ設計業務共通仕様書 1 総則・一般

〔土木工事一般に係わるもの〕 測量調査設計業務等共通仕様書(北海道建設部監修)

〔上水道施設に係わるもの〕 水道施設設計業務委託標準仕様書(日本水道協会発行 2010年版)

尚、上記仕様書に明示されていない細部については、業務担当員の指示によることとする。

7. 一般事項

1. 受注者は本業務遂行に当たり、又、業務途中において、業務担当員と定期的な協議打合せを行い、不明な点が生じた場合にはその都度協議を行うこと。
2. 受注者は前項の協議について、その内容を記録し、提出しなければならない。
3. 業務遂行中は、交通、保安に万全を期すとともに、第三者に損害を与えた場合は受注者の責任により解決するものとする。
4. 既設埋設物(上・下水道管・ガス管等)の土被り等の調査の為に、それらのマンホールやバルブ弁筐類の蓋を開けて確認する場合は、必ず事前に各管理者に連絡をし、許可を得てから行うこと。
5. 現況調査等を行う際は、事前に関係する地先に調査目的が具体的で分かり易い案内文により周知すること。
6. 原則、民地内には立ち入らないこと。民地内に立ち入る必要がある場合については、必ず事前に地権者の了解を得るものとし、地権者が留守の場合は絶対に立ち入りしてはならない。(メータ位置は給水台帳を参考に表示する)
7. 受注者は、本業務において、知り得た事項は秘密を厳守し、他に漏らしてはならない。

8. 受注者は、業務遂行に当たって関係諸機関と綿密な打合せを行い、業務に遺漏の無い様に努めること。
9. 著作権を保護すべきもの（地図、ソフトウェア等著作権が発生するもの）を複製または使用等する場合は、利用申請、購入を行い適正に使用すること。
10. 調査区域内に街区基準点がある場合は、平面図に表示し、報告書に明記すること。成果は管理課、国土地理院で公表している。
また、公共基準点保全要綱に規定する「工事施工の届出」が必要となる設計をした場合は報告書に明記すること。
11. 設計担当の管理技術者は水道施設設計業務委託標準仕様書に規定されている各関係法令、基準等を熟知し、関係法令等に合致する設計を行うこと。
12. 消火栓が移設対象となる場合は、とちぎ広域消防局帯広消防署警防課警防係との立会確認に業務担当員と同行すること。
また、移設および更新対象となる消火栓の設置位置、移設対象の消火栓の修繕内容は、とちぎ広域消防局帯広消防署警防課警防係との協議結果によること。
13. 現地調査の結果、図面に記載のないロードヒーティングを確認した場合は業務担当員に報告すること。
14. 受注者は、占用協議等において、関係機関（道路・河川管理者等）と協議する場合は、業務担当員と同行すること。
15. 地盤情報が必要となる場合は、国土地盤情報センターのWebページから国土地盤情報データベースを確認すること。

8. 管理技術者等の資格について

本業務における管理技術者等の資格要件については、次のとおりとする。また、複合の委託業務において、別に記載のある場合を除き、上位の業務の管理技術者を発注者に通知する事。（設計業務）調査業務）測量業務）

なお、各業務に対応する資格要件に管理技術者が該当しない業務がある場合は、当該業務に必要な資格要件を有する担当技術者を選任すること。

☐1 設計業務（実施設計業務）

管理技術者は、技術士(上下水道部門)又はこれと同等の能力と経験を有する技術者、あるいはシビルコンサルティングマネージャー（RCCM）の資格保有者でなければならない。なお、同等の能力と経験を有する技術者とは、次のいずれかに該当する者で発注者が認める者を言う。

- ①一級土木施工管理技士
- ②学校教育法（昭和22年法律第26号）による大学卒業者にあつては、建設コンサルタント等業務について13年以上の実務経験を有する者。
- ③学校教育法による短期大学若しくは高等専門学校卒業者にあつては、建設コンサルタント等業務について15年以上の実務経験を有する者。
- ④学校教育法による高等学校卒業者にあつては、建設コンサルタント等業務について17年以上の実務経験を有する者。
- ⑤上記各項に掲げるものと同様以上の知識及び技術を有する者。

☐2 測量・調査業務

- ・測量業務に当たる管理技術者は、測量士の資格保有者でなければならない。
- ・調査業務に当たる管理技術者は、技術士(上下水道部門)又はこれと同等の能力と経験を有する技術者、あるいはシビルコンサルティングマネージャー（RCCM）の資格保有者でなければならない。なお、同等の能力と経験を有する技術者とは、次のいずれかに該当する者で発注者が認める者を言う。

- ①一級土木施工管理技士
- ②学校教育法（昭和22年法律第26号）による大学卒業者にあつては、建設コンサルタント等業務について13年以上の実務経験を有する者。
- ③学校教育法による短期大学若しくは高等専門学校卒業者にあつては、建設コンサルタント等業務について15年以上の実務経験を有する者。

④学校教育法による高等学校卒業者にあっては、建設コンサルタント等業務について17年以上の実務経験を有する者。

⑤上記各項に掲げるものと同等以上の知識及び技術を有する者。

9. 業務内容

1 実施設計業務

- (1) 現地調査 設計路線の調査、地下埋設物及び支障物件調査、在来管等の調査、渉外折衝の立会い等
- (2) 設計計画 工法・仮設の比較等施工計画
※施工方法（一体化長さの範囲、せめ位置、既設管接続、管路断水器、施工手順、道路横断、交通規制（最低、片側通行の確保を原則とする）等）を具体的に考慮した上で配管設計を行い、施工計画としてまとめること。
尚、廃止管の取り扱いについては、道路管理者から原則として撤去するよう指導されているので撤去の可否を検討すること。
- (3) 各種計算 管強度計算、構造物計算、仮設物計算、水理計算等
※上記の各種計算は公式、定数等の出典根拠を必ず明示すること。
- (4) 図面作成 工事平面図（条丁目界等を表示）、配管図、断面等詳細図、管路縦断図、各種申請図、道路・河川・公園等占用申請図、交通保安施設設置図（直線部、交差点部等）等
- (5) 数量計算 工事に必要な全ての数量計算書（配水管、給水管、仮設材料、路面復旧、各種占用数量、廃止管延長調書（図面に延長表示）等）
※「上下水道工種体系化の手引き（改訂第8版）」（帯広市上下水道部技術室水道課）に基づき、設計数量を算出すること。
特に土工事については数量が重複しないよう注意すること。
- (6) 各種書類 各種申請書、道路・河川・公園等占用申請書、各関係機関との協議書（確認サインを貰う）、建設副産物処理計画、その他業務担当員が必要とした書類の作成。※建設副産物処理計画は、種類毎に処分場名、所在地、距離、数量、処分条件等を明記すること。

② 測量・調査業務

(1) 作業計画

ア 計画作成 測量作業の方法、使用する主要な機器、作業人員、作業日程等について、業務計画書にて提出すること。

(2) 現地踏査

現地調査、選点（土地所有者及び管理者との交渉）、選点図及び平面図の作成。

(3) 基準点測量

ア 4級基準点 起終点に加え、基準点の間隔は50mで設置すること。なお、与点は公共基準点を用いること。

(4) IP設置

ア 測定設置 線形や地形により必要である場合のみ設置すること。また、設置には標杭（IP杭）を使用すること。

(5) 中心線測量

ア 計画基準 使用材料準備、機器準備、各作業工程での資料収集。

イ 測定設置 杭打ち及び観測。

中心杭の間隔は20mとし、これにプラス杭、役杭を加え、杭は路面上に支障とならないように保存して、オフセット図を作成すること。

ウ 点検整備

(6) 仮BM設置測量

ア 計画基準 使用材料準備、機器準備、各作業工程での資料収集。

イ 杭打ち及び観測

※仮BMは街路灯基礎等に設置し、消火栓には設置しないこと。

ウ 点検整備

(7) 縦断測量

ア 計画基準 使用材料準備、機器準備、各作業工程での資料収集。

イ 観測 観測、現地概要、諸簿点検、総合点検、引き上げ準備等

ウ 縦断図作成

エ 点検整備

(8) 細部測量（測量幅 道路幅+20m）

ア 計画基準 使用材料準備、機器準備、各作業工程での資料収集。

イ 支障物件調査 工事計画区域内における支障物件の管理者、構造、形状寸法等を調査し、写真帳とともに整理すること。

ウ 土地境界等調査

（ア） 公共の資料等を閲覧若しくは謄写して、相互関係の明らかな既設の道路中心標、道路境界標を基準に作成し、宅地等の間口辺長は公図からの転写である事を明記して記入すること。

（イ） 既設の土地境界標を現地測定又は、土地所有者に確認する等して調査し、前項の調査による成果との差異を別図に参考として記載すること。

エ 平面図作成

オ 点検整備

10. 提出書類等

1 共通

受注者は、次のものを提出すること。

(1) 業務計画書 1式

- 受注者は、契約後すみやかに公示用設計図書の検討、現場確認、関係機関への届け出、業務担当員との打合せを行い、契約後15日以内に提出すること。
これによりがたいときは、別途協議すること。この場合、提出できない理由書及び説明資料を提出すること。
- 提出しなければ、業務着手(外業)をしてはならない。ただし、業務担当員の承諾を得た場合は、この限りではない。
- 業務計画書に、共通仕様書等に記載のある項目について具体的な作業手順、具体的な作業方法、当該委託で留意すべき事項を記載すること。
- 段階確認事項(特記仕様書等で指示のある箇所)を業務担当員と確認のうえ業務計画書に記載すること。
- 段階確認事項(特記仕様書等で指示のある箇所以外)を業務担当員と協議のうえ業務計画書に記載すること。
- 業務計画書で変更になる部分は、すみやかに業務担当員に提出すること。

(2) 委託業務月報 1式

- 予定は前月末、実施は翌月初めまでに提出すること。
- 委託業務月報に業務スケジュール管理表を添付すること。

○ 2 実施設計業務

実施設計業務の成果品は次のものを提出すること。

(1) 実施設計図

ア 図面データ 1式

図面はCADで作成し、CD-ROM等の電子媒体にJWW形式(JWW,P21)及びラスターファイル(TIF-G4圧縮ファイル)で提出すること。その際、データは寸法線等、すべてのブロック化を解除し、新設水道管、既設水道管、他地下埋設物、用地境界線、所有者名等はレイヤ分けすること。尚、別添のCAD製図レイヤ分類表に参考例を示す。
データに貼付する位置図は、解像度を最大に上げたBitmap(カラー表示)形式のものを画像挿入し、必ず同梱すること。
製本版用図面はPDF(カラー表示)とし解像度については監督員と協議すること。なおCD-ROM等の電子媒体はウイルスチェックを必ず行い、チェックを行った事を明示し提出のこと。(図面には位置図(基本S=1/25000、監督の指示による)を含むものとする。)CADで使用する色、文字等はJWWCAD以外のソフトにより作成されたファイルをJWWCADによって読み込みを行っても、化けないものとし、化けがないか、必ず確認すること。凡例は別紙。各種図面の縮尺については監督員と協議すること。

イ 縮小版 1部(A-3版)

(2) 管路縦断図(H=1/100,L=1/500) (管路縦断図が必要とされる場合、業務担当員と協議すること。)

(3) 数量計算書 1部(計算書、各申請書は(データ)windows版EXCEL2021で作成すること。)

(4) 構造計算書 1部(構造計算が必要とされる場合、業務担当員と協議すること。)

(5) 各原稿 1式(数量計算書及び申請書A4版についてCD-ROM等の電子媒体で提出すること。)

(6) 打合せ記録簿 1部(要点を記録し、確認のサイン等を記入すること。打合せ毎、資料添付すること。)

関係機関(各管理者)との協議簿を含み、各機関ごとにまとめること。

(7) 業務報告書 1式

・設計説明書 配管計画、経過、結果、問題点、その他特記事項等を具体的に明記すること。

・施工計画書 想定施工手順(全体、詳細)、充水及び洗管の計画、産廃処理計画(種別毎に施工現場至近距離の搬入箇所名、所在地、距離)

※電線、電線管及びケーブル類の所要数量の算出は、「電気通信設備工事費積算のための工事数量取りまとめ要領(平成12年3月改訂) 社団法人建設電気技術協会発行」に基づき、原則として必要数量を各部にわたり詳細に算出して計上すること。電線管付属品は担当者と協議すること。

ターミナルキャップ類、ユニバーサル、エキスパンションカップリング、コンクリートアンカー、フレキシブル及びプリカチューブ、可とう電線管のベルマウス及び直線接続材料は電線管付属品に含まず実数を計上すること。

(8) 占用書類 1式 道路、河川、公園等の市公営企業以外所管の用地を利用する場合に作成すること。

○道路占用～各道路管理者、業務担当員が求める図面、資料を作成すること。

- ・市道 管布設予定位置の選定理由を記載した資料・現況写真・平面図・配管図・標準断面図・路面復旧図を作成する。（工事用図面ではないため、管理区域外の情報は不要）

その際、平面図・配管図・標準断面図については、占用管を赤色、廃止管を緑色、その他は黒色で表示すること。

路面復旧図については、舗装予定箇所のみ着色し、その他は黒色で表示すること。

- ・道道 平面図に道路管理区域界を緑色、占用管を赤色、廃止管を青色で表示し、占用管種・延長、埋め殺し管の区間・延長を明記し占用申請用の図面を作成する。（工事用図面ではないため、管理区域外の情報は不要）

配管図に道路区域内占用延長が確認できるよう新設管、既設管の延長を明記すること。

配管詳細図は、既設管との接続部分の道路区域内占用延長が確認できるよう延長を明記すること。

占用申請が給水管扱いであれば、DIP等の管であっても給水管図面に表示すること。

- ・国道 平面図に道路管理区域界を緑色、占用管を赤色で表示し、占用管種・延長を明記した占用用の図面を作成する。（工事用図面ではないため、管理区域外の情報は不要）

その他、記載のない事項については、各管理者との協議、業務担当員の指示によるものとする。

○河川、公園等の占用～各管理者および業務担当員が求める図面、資料を作成すること。

3 測量・調査業務

測量・調査業務の成果品は次のものを提出すること。

(1) 位置図 (S=1/25000) A4版 1部

(2) 現況平面図 (S=1/500) A1版 1式

原図はCADで作成し、CD-ROM等の電子媒体にJWW形式(JWW(Version7.11),P21)及びラスターファイル(TIF-G4圧縮ファイル)で提出すること。その際、データは寸法線等、すべてのブロック化を解除し、所有者名はほかのレイヤーと区別すること。なお、CD-ROM等の電子媒体はウイルスチェックを必ず行い、チェックを行った事を明示し提出すること。

(3) 調査資料

- | | |
|------------------------|---|
| ア 支障物件調査図 (路線内不法占用物含む) | 平面図に物件毎に色分けし、現場写真、調査資料図と整合させて整理する。 |
| イ 既設の土地境界標等調査図 | 平面図に既設の土地境界標を図示し、写真を撮って記録する。 |
| ウ 上水道給水管施工書 | 所在地番毎に整理する。 |
| エ 上水道配水管網図 | |
| オ 他の地下埋設物の管理台帳等の資料 | 物件毎に整理する。 |
| カ 測量野帳 | |
| キ 測量計算簿 | |
| ク 現場写真等 | 現況、調査物件、不法占用物、仮BM、仮設杭、測量作業状況の写真を撮影して、ネガ(デジカメ撮影の場合はCD-ROM等の電子媒体)と共に整理する。 |
| ケ 既設弁筐の種類 | |
| コ その他の資料 | |

(4) 打合せ記録簿 1部

(5) 業務報告書 1式 業務内容を工種毎に方法、経過、結果、問題点等を具体的に箇条書きにして整理する。また、打合せ記録簿にその要点を記録し、確認のサイン等を記入する等、継続業務に支障とならない様にしてまとめること。

※提出成果品は、帯広市上下水道部が指定する箱に収納し、委託業務名、委託業者名、事業名及び補助・単独の区別、箱数を明記して提出すること。

※受注者は成果品作成に当たり、委託成果品作成チェックシートによりチェックを行い、委託成果品作成チェックシートと共に提出すること。

※受注者は委託された区間に街区基準点がある場合、それぞれ道路管理者と協議して必要となる資料を提出すること。

業務計画書

令和 年 月 日

帯広市公営企業公営企業管理者 ○○○○ 様

受注者 住所 帯広市○○条○○丁目○○番地
氏名 株式会社 ○○○○
代表取締役 ○○○○

委託業務名

上記委託業務について、業務計画書を下記のとおり提出します。

- 業務概要
- 実施方針
- 実施計画
- 工程表
- 業務組織計画
- 作業員名簿
- 測量作業時、主要機械
- 設計作業時、主要機械
- 打合せ計画
- 成果品目録
- 使用する主な図書及び基準
- 連絡体制(緊急時を含む)
- 照査計画
- その他

上記委託業務について、業務計画書を受理しました。

令和 年 月 日

業務担当員 職氏名 ○○ ○○ 印

室長	課長補佐	係長	主査	係

室長	課長補佐	係長	主査	係

様式1-1号

委託業務月報

予定・実施
令和 年 月 日～令和 年 月 日

委託業務名							
受注者		〇〇株式会社		進 捗 率	先月まで	%	出来高概要
管理技術者					本月末	%	
					計	0 %	
業務担当員							
日	曜日	天候	予 定		実 績		備 考
			業務・作業内容	予定どおり	変更実施内容		
1	日						
2	月						
3	火						
4	水						
5	木						
6	金						
7	土						
8	日						
9	月						
10	火						
11	水						
12	木		打合せ	○			
13	金		盆休暇	×	※変更業務内容を記載		
14	土		〃	○			
15	日		〃	○			
16	月		〃	○			
17	火		計画準備	○			
18	水		〃	○			
19	木		〃	○			
20	金		〃	○			
21	土		〃	○			
22	日		休	○			
23	月		資料収集	○			
24	火		〃	○			
25	水		〃	×			
26	木		〃	×			
27	金		〃	×			
28	土		休	○			
29	日		〃	○			
30	月		踏査(立ち入り挨拶含む)	○			
31	火						

進捗率
予定は先月までを記載し他を空欄とする。
実施は全てを記載する。

下水道施設（入場）届

令和 年 月 日

帯広市公営企業管理者 ○○○○ 様

届出者 住所
氏名
担当者
連絡先

下記のとおり下水道施設調査（入場）を行うため、届出を致します。

記

1. 調査（入場）箇所
2. 調査物及び数量 マンホール（ 箇所） 公共汚水柵（ 箇所） 雨水柵（ 箇所）
その他（ ）
3. 期間 令和 年 月 日 から 令和 年 月 日 まで
4. 業務名
5. 調査（入場）目的
6. 担当課及び担当員
7. 添付書類 位置図（住宅地図）、公共下水道台帳図（下水道GIS）

【注意事項】

- ① 調査完了後マンホール等の蓋の閉止確認を確実にを行い、ガタツキや飛散による事故防止に努め、速やかに現状復旧を行うこと。
- ② マンホール蓋内側にガタツキ防止用ゴムリングや融雪防止断熱蓋を設置している箇所があるため、マンホール内へ落下させないように注意すること。
- ③ 冬季間の調査において路面が圧雪の場合、マンホール等の開閉後は圧雪路面との段差による事故防止のため、段差解消等の対応を図ること。
- ④ 下水道施設の調査箇所における事故、苦情が発生した場合、届出者によって対応すること。
- ⑤ この届をもって道路掘削を許可するものではないため、道路管理者に別途許可申請を行うこと。

記載例

下水道施設（入場）届

令和 年 月 日

帯広市公営企業管理者 ○○○○ 様

届出者 住所 帯広市○○条南○丁目○番地

氏名 ○○株式会社
代表取締役 ○○○○

担当者 ○○ ○○

連絡先 ○○○-○○○○-○○○○

下記のとおり下水道施設調査（入場）を行うため、届出を致します。

記

- 調査（入場）箇所 帯広市○○条○○丁目○○地先 外3箇所（別紙位置図）
- 調査物及び数量 マンホール（20箇所） 公共汚水枳（50箇所） 雨水枳（15箇所）
その他（雨水管口2000×2000）
- 期間 令和 ○年 ○月 ○日 から 令和 ○年 ○月 ○日 まで
- 業務名 ○○測量調査・実施設計委託業務その○
- 調査（入場）目的 ○○新設に伴う測量調査のため
- 担当課及び担当員 ○○○○部○○室○○○課 係員 ○○ ○○
- 添付書類 位置図（住宅地図）、公共下水道台帳図（下水道GIS）

【注意事項】

- ① 調査完了後マンホール等の蓋の閉止確認を確実にし、ガタツキや飛散による事故防止に努め、速やかに現状復旧を行うこと。
- ② マンホール蓋内側にガタツキ防止用ゴムリングや融雪防止断熱蓋を設置している箇所があるため、マンホール内へ落下させないように注意すること。
- ③ 冬季間の調査において路面が圧雪の場合、マンホール等の開閉後は圧雪路面との段差による事故防止のため、段差解消等の対応を図ること。
- ④ 下水道施設の調査箇所における事故、苦情が発生した場合、届出者によって対応すること。
- ⑤ この届をもって道路掘削を許可するものではないため、道路管理者に別途許可申請を行うこと。

成果品収納箱

- 成果品収納箱は、プラスチック製 幅390×高さ220×長さ740mmを使用すること。
※収納する成果品により業務担当員と協議の上、高さの変更のみ可。
- 収納箱引出し前面部に下記タイトルを貼付すること。

外 枠 着 色 指 定	緑
	橙
	紫
	赤
	黄

は着色部

30mm 30mm 30mm 30mm	成 果 品	令和〇〇年度 単 独	8mm
	業務名 . 上水道測量調査・設計委託業務その〇		
	工期 . 令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日		
	受託者 . 〇〇設計株式会社	※ 箱数を記入 2 1 総箱数 当該箱番	
290mm			136mm

	着色指定		
	ピンク	補	助
○	青	単	独

↑ 本業務該当○印

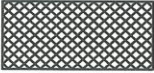

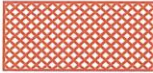




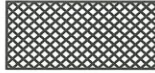








委託成果品作成チェックシート

平面図作成チェックシート	配管図作成チェックシート	縦断面図作成チェックシート	管路付属施設構造図作成チェックシート																														
<p>1 <input type="checkbox"/> 方位(北)を記入したか</p> <p>2 <input type="checkbox"/> 方位(北)は図面用紙の上方、または右方向としているか</p> <p>3 <input type="checkbox"/> 位置図を記入したか</p> <p>4 <input type="checkbox"/> 位置図に施工箇所を記入したか ※施工箇所を黒く塗りつぶし、○で囲む</p> <p>5 <input type="checkbox"/> 位置図に縮尺を記入したか</p> <p>6 <input type="checkbox"/> 位置図に方位(北)を記入したか</p> <p>7 <input type="checkbox"/> 凡例を記入したか(1枚目のみ)</p> <p>※新設管…実線 既設管…破線 廃止管…破線に斜線</p> <p>8 <input type="checkbox"/> 同一箇所が複数となる場合、路線略図を記入したか</p> <p>9 <input type="checkbox"/> 工事図面の図面タイトルに工事名、図面名、縮尺、図面番号、施工位置を記入したか</p> <p>10 <input type="checkbox"/> 図面タイトルの縮尺を記入したか</p> <p>11 <input type="checkbox"/> 縮尺を記入したか ※原則として 1:500(最低)</p> <p>12 <input type="checkbox"/> 用地境界線を一点破線で記入したか</p> <p>13 <input type="checkbox"/> 地番・土地所有者・家屋所有者を記入したか</p> <p>14 <input type="checkbox"/> 住所(条、丁目)を記入したか</p> <p>15 <input type="checkbox"/> 仮BMを記入したか(消火栓等の移設の可能性があるものには設置しない)</p> <p>16 <input type="checkbox"/> 主要構造物(橋梁等)の名称を記入したか</p> <p>17 <input type="checkbox"/> 主要道路の路線名(正式名)を記入したか(市道の場合、番号も記入)</p> <p>18 <input type="checkbox"/> 道路幅員を記入したか</p> <p>19 <input type="checkbox"/> ロードヒーティングがある場合記入したか</p> <p>20 <input type="checkbox"/> オフセットNoを記入したか</p> <p>21 <input type="checkbox"/> 平面図に他事業の平面図を使用する場合、不用なものを削除したか</p> <p>(新設管)</p> <p>22 <input type="checkbox"/> 実線で記入したか</p> <p>23 <input type="checkbox"/> 管種・口径・継手形式を記入したか [DIP(T)φ150]</p> <p>24 <input type="checkbox"/> 内面粉体管の場合、上記の口径のうしろに(内面粉体)と記入したか</p> <p>25 <input type="checkbox"/> 境界から新設管までの距離を記入したか</p> <p>26 <input type="checkbox"/> 工事起点、工事終点、SP を旗揚げして記入したか ※道路先行工事の場合、下段に道路測点を()で記入</p> <p>27 <input type="checkbox"/> 仕切弁をマークどおり記入したか</p> <p>28 <input type="checkbox"/> 排泥設備を旗揚げして記入したか ※立上げの場合文字で記入</p> <p>29 <input type="checkbox"/> 空気弁設備を旗揚げして記入したか ※⊙で記入</p> <p>30 <input type="checkbox"/> 片差マークを記入したか ※2個以上使用の場合、その数分記入</p> <p>31 <input type="checkbox"/> 管路終端に管止めマークを記入したか</p> <p>32 <input type="checkbox"/> 弁蓋の付いていない弁(捨てバルブ)を記入していないか</p> <p>33 <input type="checkbox"/> 異管種との接続の場合、接続記号を記入したか</p> <p>(既設管)</p> <p>34 <input type="checkbox"/> 破線で記入したか</p> <p>35 <input type="checkbox"/> 管種・口径・工事略名(SまたはH○○-○○)を記入したか</p> <p>36 <input type="checkbox"/> 境界から既設管までの距離を記入したか</p> <p>37 <input type="checkbox"/> 仕切弁をマークどおり破線で記入したか</p> <p>38 <input type="checkbox"/> 管路終端に管止めマークを記入したか</p> <p>39 <input type="checkbox"/> フランジ蓋、閉塞ジョイントで管路終端となる場合、管止めマークを記入したか</p> <p>40 <input type="checkbox"/> 弁蓋の付いていない弁を記入していないか</p> <p>(廃止管)</p> <p>41 <input type="checkbox"/> 破線に斜線で記入したか。 廃止管延長を入れたか</p> <p>42 <input type="checkbox"/> 管種・口径・工事略名(SまたはH○○-○○)を記入したか</p> <p>43 <input type="checkbox"/> 境界から廃止管までの距離を記入したか</p> <p>44 <input type="checkbox"/> 撤去する場合、廃止管マークの横に「撤去」と記入したか また、撤去管の延長を入れたか</p> <p>(再チェック)</p> <p>45 <input type="checkbox"/> 仕切弁の種類は正しいか</p> <p>46 <input type="checkbox"/> 既設管、廃止管の記載は正しいか</p> <p>(給水切替)</p> <p>47 <input type="checkbox"/> 通し番号で切替箇所を明示したか</p> <p>48 <input type="checkbox"/> 既設給水管の管種、口径を記入したか</p> <p>(消火栓)</p> <p>49 <input type="checkbox"/> 一般の配水管と同様に平面図を作成したか</p>	<p>(新設管)</p> <p>101 <input type="checkbox"/> 実線で記入したか</p> <p>102 <input type="checkbox"/> 管種・口径・継手形式を記入したか [DIP(T)φ150]</p> <p>103 <input type="checkbox"/> 内面粉体管の場合、上記の口径のうしろに(内面粉体)と記入したか</p> <p>104 <input type="checkbox"/> 継手形状(T形、K形等)の配管記号は正しいか</p> <p>105 <input type="checkbox"/> 特殊押輪、離脱防止金具の位置は正しいか</p> <p>106 <input type="checkbox"/> フランジ継手(GF、RF)の略図は正しいか</p> <p>107 <input type="checkbox"/> 設計(平面)延長及び管布設(架)延長を旗揚げで記入したか(架延長はカッコ書き)</p> <p>108 <input type="checkbox"/> 割T字管、二受T字管、三受十字管、片落ち管、サドル分水栓等の配管記号の横に口径を記入したか</p> <p>109 <input type="checkbox"/> 曲管の角度を配管記号の横に記入したか</p> <p>110 <input type="checkbox"/> ケース管がある場合、位置、種類、口径、延長を記入したか</p> <p>111 <input type="checkbox"/> フランジ蓋、閉塞ジョイント、栓は旗揚げで記入したか</p> <p>112 <input type="checkbox"/> 捨てバルブは旗揚げ記入したか</p> <p>113 <input type="checkbox"/> 弁蓋無しの場合、(弁蓋無し)と記入したか</p> <p>114 <input type="checkbox"/> 捨てバルブが横付けの場合、(横付け)と記入したか</p> <p>115 <input type="checkbox"/> 仕切弁は、ソフトシール仕切弁以外(FCD、パタプライ弁等)は名称を記入したか</p> <p>116 <input type="checkbox"/> 排泥弁、排泥設備は文字で記入したか</p> <p>117 <input type="checkbox"/> 排泥管の接続先(雨水桝、下水マンホール等)を記入したか</p> <p>118 <input type="checkbox"/> 空気弁は文字で記入したか</p> <p>119 <input type="checkbox"/> 管路断水器は旗揚げして、文字で記入したか</p> <p>120 <input type="checkbox"/> ユーパックス断水器は旗揚げして、文字で記入したか</p> <p>121 <input type="checkbox"/> 管路断水器の弁体の有無、弁蓋の有無を記入したか</p> <p>122 <input type="checkbox"/> 異管種との接続の場合、接続記号を記入したか</p> <p>123 <input type="checkbox"/> 伏せ越し等で斜め配管となる曲管、二受T字管等には、●を付け断面図を記入したか ※断面図の作成</p> <p style="margin-left: 20px;">124 <input type="checkbox"/> 平面配管図と断面配管図の位置関係が明確になっているか</p> <p>125 <input type="checkbox"/> 北方向または東方向が右になっているか</p> <p>126 <input type="checkbox"/> 断面図の両端に方位(東・西・南・北)を記入したか</p> <p>127 <input type="checkbox"/> 土盛り等主要寸法を記入したか</p> <p>128 <input type="checkbox"/> 地下埋設物がある場合、名称、管種、口径、埋設深等を記入したか</p> <p>129 <input type="checkbox"/> 地下埋設物と水道管との距離を記入したか</p> <p>130 <input type="checkbox"/> 特殊押輪、離脱防止金具の位置は正しいか</p> <p>131 <input type="checkbox"/> 平面配管図との確認をしたか</p> <p>132 <input type="checkbox"/> 事業名の区分を明示したか</p> <p>133 <input type="checkbox"/> オフセットNOを記入したか</p> <p>134 <input type="checkbox"/> 大口必要のφ75m/m以上の給水管を配管図の中に記入したか</p> <p>(既設管)</p> <p>135 <input type="checkbox"/> 管および弁を破線で記入したか</p> <p>136 <input type="checkbox"/> 管種・口径・工事略名(SまたはH○○-○○)を記入したか</p> <p>(廃止管)</p> <p>137 <input type="checkbox"/> 破線に斜線で記入し、廃止管延長(L=○○m)を記入したか</p> <p>138 <input type="checkbox"/> 管種・口径・工事略名(SまたはH○○-○○)を記入したか</p> <p>139 <input type="checkbox"/> 撤去する場合、廃止管マークの横に「撤去」と記入し、撤去管延長を記入したか</p> <p>140 <input type="checkbox"/> 既設弁蓋を撤去する場合、(弁蓋撤去)と明示したか</p> <p>(再チェック)</p> <p>141 <input type="checkbox"/> 仕切弁の種類は正しいか</p> <p>142 <input type="checkbox"/> 既設管、廃止管の記載は正しいか</p> <p>143 <input type="checkbox"/> 原則として、平面図と配管図が1枚の図面に入っているか</p> <p>144 <input type="checkbox"/> 図面全体が小さすぎてわかりづらくなっていないか</p> <p>(その他)</p> <p>145 <input type="checkbox"/> PPの配管はチェックシート図集のようにになっているか</p> <p>146 <input type="checkbox"/> 消火栓の配管図を作成したか</p>	<p>201 <input type="checkbox"/> 配水管口径φ250mm以上もしくは監督員からの指示があった場合、縦断面図を作成したか</p> <p>※縦断面表は下記を標準とする</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 5px 0;"> <tr><td style="width: 50%;">土盛り</td><td style="width: 50%;"></td></tr> <tr><td>管頂高</td><td></td></tr> <tr><td>地盤高</td><td></td></tr> <tr><td>測点</td><td></td></tr> </table> <p>(道路先行の場合)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 5px 0;"> <tr><td style="width: 50%;">土盛り</td><td style="width: 50%;"></td></tr> <tr><td>管頂高</td><td></td></tr> <tr><td>現地地盤高</td><td></td></tr> <tr><td>道路計画高</td><td></td></tr> <tr><td>道路測点</td><td></td></tr> <tr><td>測点</td><td></td></tr> </table> <p>202 <input type="checkbox"/> 縦断面図のタイトルを記入したか</p> <p>203 <input type="checkbox"/> 縮尺を記入したか ※原則として縦方向 1:100 横方向 1:1,000</p> <p>204 <input type="checkbox"/> 高さ、測点はm単位とし、小数第2位止めとなっているか</p> <p>205 <input type="checkbox"/> 測点のスペンシは20mとなっているか</p> <p>206 <input type="checkbox"/> 管路付属施設(空気弁、排泥施設等)がある場合追加記入しているか</p> <p>207 <input type="checkbox"/> 変化点は追加記入しているか</p> <p>208 <input type="checkbox"/> 工事起点、終点を旗揚げで記入しているか</p> <p>209 <input type="checkbox"/> 測点～土盛りに接続線を記入したか</p> <p>210 <input type="checkbox"/> 土盛りは道路計画高からになっているか</p>	土盛り		管頂高		地盤高		測点		土盛り		管頂高		現地地盤高		道路計画高		道路測点		測点		<p>301 <input type="checkbox"/> 空気弁室、排泥施設等の管路付属施設がある場合、必要図面を作成したか</p> <p>302 <input type="checkbox"/> 図面タイトルを記入したか</p> <p>303 <input type="checkbox"/> 縮尺を記入したか</p> <p style="text-align: center;">設計計画チェックシート</p> <p>1 <input type="checkbox"/> 耐震管使用路線(耐震管使用基準)の確認をしたか</p> <p>2 <input type="checkbox"/> 配水ブロック界(現況、将来)付近に配管の場合</p> <p style="margin-left: 20px;">3 <input type="checkbox"/> ループ配管となっているか</p> <p style="margin-left: 20px;">4 <input type="checkbox"/> ブロック界の連絡管の場合、排泥設備(滞水の排水)を付けたか</p> <p style="margin-left: 20px;">5 <input type="checkbox"/> 閉止バルブはFCDか</p> <p style="margin-left: 20px;">6 <input type="checkbox"/> ブロック間の幹線接続部のバルブの配置はあらゆることに対応できる様になっているか</p> <p>7 <input type="checkbox"/> 現況の配水ブロックを確認したか</p> <p>8 <input type="checkbox"/> 将来の配水ブロックを確認したか</p> <p>9 <input type="checkbox"/> 老朽管更新計画路線を確認したか</p> <p>10 <input type="checkbox"/> 口径は、基本計画上の口径になっているか</p> <p>11 <input type="checkbox"/> さや管施工に伴う箇所はないか</p> <p>12 <input type="checkbox"/> 排泥設備は排泥先の排水能力を検討して決定したか</p> <p>13 <input type="checkbox"/> 既設管接続工事の事業、補助または単独の考え方が正確か</p> <p>14 <input type="checkbox"/> 管路断水器又はエアバックの配置はよいのか</p> <p>15 <input type="checkbox"/> 消火栓の有無を確認したか</p> <p>16 <input type="checkbox"/> 消火栓の配管図を作成したか</p> <p>17 <input type="checkbox"/> 凍結区域を確認したか</p> <p>18 <input type="checkbox"/> 既設及び新設地下埋設物との保安距離は良いか</p> <p>19 <input type="checkbox"/> 関連工事との高さの調整をしたか</p> <p>20 <input type="checkbox"/> 弁蓋嵩上げ箇所はないか</p> <p>21 <input type="checkbox"/> 行き止まり管(内面粉体管)の先に排泥設備を設けたか</p> <p>22 <input type="checkbox"/> 受水槽の箇所を確認したか</p> <p>23 <input type="checkbox"/> 現場の調査で給水管の野立ち箇所はないか</p> <p>24 <input type="checkbox"/> 空気弁、排泥設備の設置箇所は妥当なところにあるか</p> <p>25 <input type="checkbox"/> 総体的に直管延長と受口、挿口との数が妥当ものになっているか</p> <p>26 <input type="checkbox"/> 分水防止が必要な箇所はないか</p> <p>27 <input type="checkbox"/> 弁蓋撤去する箇所はないか</p> <p>28 <input type="checkbox"/> 配管は経済的な方法でこなされているか(断水、不断水工法等)</p> <p>29 <input type="checkbox"/> 管路末端が次、接続しやすい配管になっているか</p> <p style="text-align: center;">数量調査チェックシート</p> <p>101 <input type="checkbox"/> 様式は指定したものが</p> <p>102 <input type="checkbox"/> 路線ごと、事業ごと、口径ごとに分かれているか</p> <p>103 <input type="checkbox"/> 舗装、縁石、マーキング、点字ブロックの数量がわかる略図を作成したか</p> <p>104 <input type="checkbox"/> 給水管数量調査を路線ごとに作成したか</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <tr><td style="width: 50%;">委託名</td><td style="width: 50%;"></td></tr> <tr><td>委託業者</td><td></td></tr> <tr><td>主任技術者</td><td style="text-align: right;">印</td></tr> <tr><td>チェック年月日</td><td style="text-align: center;">令和 年 月 日</td></tr> <tr><td>社内審査者</td><td style="text-align: right;">印</td></tr> </table>	委託名		委託業者		主任技術者	印	チェック年月日	令和 年 月 日	社内審査者	印
土盛り																																	
管頂高																																	
地盤高																																	
測点																																	
土盛り																																	
管頂高																																	
現地地盤高																																	
道路計画高																																	
道路測点																																	
測点																																	
委託名																																	
委託業者																																	
主任技術者	印																																
チェック年月日	令和 年 月 日																																
社内審査者	印																																
平面図・配管図 比較 チェックシート																																	
<p>147 <input type="checkbox"/> 平面図、配管図を1箇所ごとに見比べて確認したか ※特に仕切弁の位置関係および配管形状・既設管廃止に伴う管路終端の記入</p>																																	

委託成果品作成チェックシート図集

平面図作成		配管図作成											
番号	表示方法	番号	表示方法	番号	表示方法								
27 及び 37	仕切弁マーク	107											
	<ul style="list-style-type: none"> ・ソフトシール仕切弁 ・JISバルブ ・FCDバルブ ・NSバルブ ・SIIバルブ 					<ul style="list-style-type: none"> ・管路断水器 ・バタフライ弁 							
	片落管マーク					110							
	フランジ蓋、閉塞ジョイント、栓									122	<p>VP・ACP・PPとDIPの接続の場合</p>		
	<ul style="list-style-type: none"> DIP(T) φ75 DIP(NS) φ75 												
<ul style="list-style-type: none"> DIP(T) φ75 VP φ75 	<ul style="list-style-type: none"> VCジョイント(接続部品名を記入) 												
L=○○○ m *****	132												
撤去 L=○○○ m *****						<p style="color: red;">※管路耐震化事業※ ○路線 (または第8次配水管整備事業 ○路線) (または老朽管更新事業 ○路線)</p> <p style="color: red;">※管路耐震化事業※ (または第8次配水管整備事業 (または老朽管更新事業))</p> <p style="color: red;">※管路接続工1</p>							
		145											

RGBの例

			
black 0 0, 0, 0	blue 1 0, 0, 255	red 2 255, 0, 0	magenta 3 255, 0, 255
			
green 4 0, 255, 0	cyan 5 0, 255, 255	yellow 6 255, 255, 0	white 7 255, 255, 255
			
lightgray 8 192, 192, 192	lightblue 9 0, 128, 255	deeppink 10 192, 0, 128	lavender 任意 128, 64, 255
			
lightgreen 任意 128, 192, 128	brown 任意 192, 128, 64	orange 14 255, 128, 0	darkgray 15 128, 128, 128

図面凡例

凡 例		色 別
— · —	用 地 界	牡丹
— ○ —	北 電 電 柱	暗灰
— ● —	N T T 電 柱	暗灰
— ○ —	共 架 電 柱	暗灰
● ●	上 水 道 弁	緑・赤
⊙ 雨	下 水 道 マ ン ホ ー ル	茶・青
⊙ W	給 水 メ ー タ ー	緑
⊙ G	ガ ス 弁	青紫
⊙ H ⊙ H	消 火 栓	緑・赤
田	既 設 石 標	暗灰
⊙	既 設 道 路 中 心 標	暗灰
— — —	既 設 道 路	暗灰
— — —	計 画 道 路	黒
— — —	配 新 設 管	赤
— — —	水 既 設 管	緑
///	廢 止 管	緑
— — —	給 水 新 設 管	赤
— — —	水 既 設 管	緑
///	廢 止 管	緑
— — —	下 汚 水 管	茶
— — —	水 道 雨 水 管	青
— ○ —	公 共 汚 水 榦	茶
— □ —	道 路 雨 水 管	水
— □ —	雨 水 榦	水
— — —	ガ ス 管	青紫
— — —	N T T 管 路	橙
— □ —	N T T ハ ン ド ホ ー ル	橙
⊙	N T T マ ン ホ ー ル	橙

CAD製図レイヤ分類表の例

各図面共通
グループ0

レイヤ番号	レイヤ名	レイヤに含まれる内容
0	枠	外枠、タイトル枠(様式-1)、凡例図枠、方位
1	基準線	基準線、基準点、(図面の仮線)
2	寸法	寸法線、寸法
3	文字	所有者名等以外の文字
4	用地境界等	用地線、道路Ⓔ、IP、基準点、杭等
5	現況線	現況状況
6	所有者名	所有者名等
7	新設水道管	文字含む
8	新設給水管	〃
9	既設水道管	〃
A	既設給水管	〃
B	既設污水管	〃
C	既設雨水管	〃
D	既設ガス管	〃
E	既設NTT・北電ケーブル	〃
F	旗揚げ	旗上げ

※上記以外の項目については、必要に応じて別グループに分類する

線幅は、基本13、新設管25、道路18、図面外枠25、
タイトル枠20とする

業務費内訳書

費目・工種・種別・細別・規格	単位	数量	単価	金額	摘要
直接測量費(旅費(率分)・宿泊費・宿泊手当・安全費・電子成果品・成果検定費除)	式	1			
4級基準点測量 全工程 永久標識設置無し 伐採無し 耕地 平地	点	35			代-1号 3頁
路線測量 作業計画	業務	1			代-2号 4頁
路線測量 現地踏査 耕地 平地 0~1000台未満	km	1,800			代-3号 5頁
路線測量 中心線測量・全工程 耕地 平地 0~1000台未満	km	1,800			代-4号 6頁
路線測量 仮BM設置測量・全工程 耕地 平地 0~1000台未満	km	1,800			代-5号 7頁
路線測量 縦断測量・全工程 耕地 平地 0~1000台未満 往復1km	km	1,800			代-6号 8頁
現地測量 細部測量 1/1000 耕地 平地 0.056km ²	業務	1			代-7号 9頁
直接経費	式	1			
直接経費	式	1			
安全費	式	1			
安全費	式	1			
直接測量費	式	1			
間接測量費	式	1			

業務費内訳書

費目・工種・種別・細別・規格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
諸経費	式	1			
測量業務価格	式	1			
直接原価(電子成果品作成費除く)	式	1			
開削工法・布設替詳細設計(小口径) 1800~2000m未満 床付~2m	業務	1			代-8号 10頁
直接原価(その他原価除く)	式	1			
その他原価	式	1			
一般管理費等	式	1			
業務価格	式	1			
業務価格	式	1			
消費税相当額	式	1			
業務委託料	式	1			

参考資料

4級基準点測量 全工程 永久標識設置無し
伐採無し 耕地 平地

(代-1号)

35 点当り

名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
測量主任技師(内業)	人	1				[R8.3]
測量技師(内業)	人	2.500				[R8.3]
測量技師補(内業)	人	2.500				[R8.3]
測量助手(内業)	人	1				[R8.3]
測量技師(外業)	人	5.500				[R8.3]
測量技師補(外業)	人	5.500				[R8.3]
測量助手(外業)	人	7				[R8.3]
機械経費	%	2.500			諸雑費	
通信運搬費等	%	2.500			諸雑費	
材料費	%	2			諸雑費	
精度管理費	%	9			諸雑費	
計						
1 点 当 り						

参考資料

路線測量 現地踏査
耕地 平地 0~1000台未満

(代-3号)

1 km当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
測量技師(外業)	人	1 600				[R8.3]
測量技師補(外業)	人	1 400				[R8.3]
機械経費	%	1 500			諸雑費	対象:直接人件費
材料費	%	6 500			諸雑費	対象:直接人件費
計						
1 km 当り						

参考資料

路線測量 中心線測量・全工程
耕地 平地 0~1000台未満

(代-4号)

1 km当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
測量技師(内業)	人	1 800				[R8.3]
測量技師補(内業)	人	1 800				[R8.3]
測量技師(外業)	人	2 500				[R8.3]
測量技師補(外業)	人	2 800				[R8.3]
測量助手(外業)	人	2 200				[R8.3]
機械経費	%	4			諸雑費	
材料費	%	5 500			諸雑費	
精度管理費	%	10			諸雑費	
変化率	%	-10			諸雑費	
計						
1 km 当り						

路線測量 仮BM設置測量・全工程
 耕地 平地 0~1000台未満

参考資料

(代-5号)

1 km当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
測量技師(内業)	人	0.400				[R8.3]
測量技師補(内業)	人	1.100				[R8.3]
測量助手(内業)	人	0.300				[R8.3]
測量技師(外業)	人	1				[R8.3]
測量技師補(外業)	人	1.200				[R8.3]
測量助手(外業)	人	0.900				[R8.3]
機械経費	%	2.500			諸雑費	
材料費	%	2			諸雑費	
精度管理費	%	10			諸雑費	
計						
1 km 当り						

参考資料

路線測量 縦断測量・全工程
耕地 平地 0~1000台未満 往復1km

(代-6号)

1 km当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
測量技師(内業)	人	1 300				[R8.3]
測量技師補(内業)	人	1 100				[R8.3]
測量助手(内業)	人	0 500				[R8.3]
測量技師(外業)	人	1 600				[R8.3]
測量技師補(外業)	人	1 800				[R8.3]
測量助手(外業)	人	1 400				[R8.3]
機械経費	%	2 500			諸雑費	
材料費	%	3			諸雑費	
精度管理費	%	10			諸雑費	
計						
1 km 当り						

現地測量 細部測量 1/1000
 耕地 平地 0.056km²

参考資料

(代-7号)

1 業務当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
測量技師補(内業)	人	2 108				[R8.3]標準作業量:0.1km ²
測量技師(外業)	人	4 148				[R8.3]標準作業量:0.1km ²
測量技師補(外業)	人	6 392				[R8.3]標準作業量:0.1km ²
測量助手(外業)	人	5 576				[R8.3]標準作業量:0.1km ²
機械経費	%	5			諸雑費	対象:直接人件費
通信運搬費等	%	0 500			諸雑費	対象:直接人件費
材料費	%	2			諸雑費	対象:直接人件費
精度管理費	%	5			諸雑費	対象:人件費等+機械経費
変化率	%	-10			諸雑費	
計						
1 業務 当り						

参考資料

開削工法・布設替詳細設計(小口径)
1800~2000m未満 床付~2m

(代-8号)

1 業務当り

名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
設計協議 第1回あり 中間あり2回 最終あり	業務	1			代-9号 11頁	
開削工法・布設替詳細設計(小口径) 報告書作成 管路延長1800~2000m未満	業務	1			代-10号 12頁	
主任技師(内業)	人	4 093				[R8. 3]
技師(A)(内業)	人	9 179				[R8. 3]
技師(B)(内業)	人	16 869				[R8. 3]
技師(C)(内業)	人	16 745				[R8. 3]
技術員(内業)	人	10 543				[R8. 3]
主任技師(外業)	人	0 992				[R8. 3]
技師(A)(外業)	人	2 233				[R8. 3]
技師(B)(外業)	人	4 217				[R8. 3]
技師(C)(外業)	人	4 093				[R8. 3]
技術員(外業)	人	3 969				[R8. 3]
計						
1 業務 当り						

開削工法・布設替詳細設計(小口径) 報告書作成
 管路延長1800~2000m未満

参考資料

(代-10号)

1 業務当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
主任技師(内業)	人	1,240				[R8.3]
技師(A)(内業)	人	4,962				[R8.3]
技師(B)(内業)	人	3,721				[R8.3]
技師(C)(内業)	人	1,240				[R8.3]
計						
1 業務 当り						

経 費 一 覧 表

帯広市公営企業管理者
令和8年度 簡易水道測量調査・実施設計委託業務その1

設計

費目名	率	金額	計算式(数値)	計算式(費目名)	丸め
土木:測量/令和8年度(2026年度)					
【直接測量費】					
直接測量費(旅費(率分)・宿泊費・宿泊手当・安全費・電子成果品・成果検定費除く)					丸めしない
(直接人件費)					丸めしない
(直接人件費(変化率含む))					丸めしない
直接人件費(千円)				$((\text{直接人件費}) + \text{直接経費に含まれる直接人件費}) / 1000$	小数第1位を 切り捨て
直接経費				安全費	丸めしない
直接経費				安全費	丸めしない

経 費 一 覧 表

帯広市公営企業管理者
令和8年度 簡易水道測量調査・実施設計委託業務その1

設計

費目名	率	金額	計算式(数値)	計算式(費目名)	丸め
【旅費交通費】					
旅費交通費					丸めしない
旅費交通費(率分)対象額				直接人件費	丸めしない
旅費交通費(率分)					丸めしない
宿泊費					丸めしない
宿泊手当					丸めしない
旅費交通費(測量)					丸めしない
基地関係費					丸めしない

経 費 一 覧 表

帯広市公営企業管理者
令和8年度 簡易水道測量調査・実施設計委託業務その1

設計

費目名	率	金額	計算式(数値)	計算式(費目名)	丸め
【安全費】					
安全費				安全費	丸めしない
安全費対象額				直接測量費(旅費(率分)・宿泊費・宿泊手当・安全費・電子 成果品・成果検定費除く)	丸めしない
安全費対象額(旅費交通費(宿泊・滞在伴わない))				直接測量費(旅費(率分)・宿泊費・宿泊手当・安全費・電子 成果品・成果検定費除く)	丸めしない
安全費対象額(旅費交通費(宿泊・滞在伴う))				直接測量費(旅費(率分)・宿泊費・宿泊手当・安全費・電子 成果品・成果検定費除く)	丸めしない
安全費	定率			安全費対象額 * 安全费率 / 100	1円丸め 切り捨て
【電子成果品作成費】					
電子成果品作成費					丸めしない

経 費 一 覧 表

帯広市公営企業管理者
令和8年度 簡易水道測量調査・実施設計委託業務その1

設計

費目名	率	金額	計算式(数値)	計算式(費目名)	丸め
電子成果品作成費					丸めしない
その他					丸めしない
【技術管理費】					
技術管理費					丸めしない
技術管理費					丸めしない
成果検定費等					丸めしない
成果検定費					丸めしない
直接測量費				直接測量費(旅費(率分)・宿泊費・宿泊手当・安全費・電子成果品・成果検定費除く) + 安全費	丸めしない

経 費 一 覧 表

帯広市公営企業管理者
令和8年度 簡易水道測量調査・実施設計委託業務その1

設計

費目名	率	金額	計算式(数値)	計算式(費目名)	丸め
間接測量費				諸経費	丸めしない
【諸経費】					
諸経費対象額				直接測量費	丸めしない
諸経費調整金				$(\text{直接測量費} + \text{諸経費(調整前)}) - \text{INT}((\text{直接測量費} + \text{諸経費(調整前)}) / \text{業務価格丸め桁}) * \text{業務価格丸め桁}$	丸めしない
諸経費(調整前)				$\text{直接測量費} * \text{諸経费率} / 100 * \text{公益法人等補正率}$	1円丸め 切り捨て
業務価格(端数処理前)				$\text{直接測量費} + \text{諸経費(調整前)}$	丸めしない
諸経費	定率			$((\text{直接測量費} * \text{諸経费率} / 100 * \text{公益法人等補正率}) - \text{諸経費調整金}) * \text{経費表示}$	丸めしない
諸経費対象外					丸めしない

経 費 一 覧 表

帯広市公営企業管理者
令和8年度 簡易水道測量調査・実施設計委託業務その1

設計

費目名	率	金額	計算式(数値)	計算式(費目名)	丸め
測量業務価格				[丸め：10000円丸め切り捨て]Σ測量業務価格 * 経費表示	丸めしない

上水道：設計／令和8年度(2026年度)					
直接原価(電子成果品作成費除く)					丸めしない
(直接人件費)					丸めしない
直接人件費(千円)				(直接人件費) / 1000	小数第1位を切り捨て
電子成果品作成費対象額				直接人件費	丸めしない
電子成果品作成費					丸めしない

経 費 一 覧 表

帯広市公営企業管理者
令和8年度 簡易水道測量調査・実施設計委託業務その1

設計

費目名	率	金額	計算式(数値)	計算式(費目名)	丸め
直接原価(その他原価除く)				直接原価(電子成果品作成費除く)	丸めしない
その他原価対象額				直接人件費	丸めしない
その他原価率				$(\alpha: \text{業務原価に占めるその他原価の割合} / 100 / (1 - \alpha: \text{業務原価に占めるその他原価の割合} / 100)) * 100$	小数第3位を 四捨五入
その他原価	定率			$(\text{直接人件費}) * \text{その他原価率} / 100$	小数第1位を 切り捨て
一般管理費等対象額				直接原価(その他原価除く) + その他原価	丸めしない
一般管理費等率				$(\beta: \text{業務価格に占める一般管理費等の割合} / 100 / (1 - \beta: \text{業務価格に占める一般管理費等の割合} / 100)) * 100$	小数第3位を 四捨五入
一般管理費等調整金				$(\text{業務原価} + \text{一般管理費等(調整前)}) - \text{INT}((\text{業務原価} + \text{一般管理費等(調整前)}) / \text{業務価格丸め桁}) * \text{業務価格丸め桁}$	丸めしない
一般管理費等	定率			$((\text{直接原価(その他原価除く)} + \text{その他原価}) * \text{一般管理費等率} / 100) - \text{一般管理費等調整金}$	丸めしない

経 費 一 覧 表

帯広市公営企業管理者
令和8年度 簡易水道測量調査・実施設計委託業務その1

設計

費目名	率	金額	計算式(数値)	計算式(費目名)	丸め
諸経費対象外					丸めしない
業務価格				[丸め：10000円丸め切り捨て]Σ業務価格	丸めしない

業務委託料(消費税込み)／令和8年度(2026年度)					
業務価格				測量業務価格 + 業務価格	丸めしない
消費税相当額	10%			業務価格 * 消費税率 / 100	1円丸め 切り捨て
業務委託料				業務価格 + 消費税相当額	丸めしない

経 費 一 覧 表

帯広市公営企業管理者
令和8年度 簡易水道測量調査・実施設計委託業務その1

設計

費目名	率	金額	計算式(数値)	計算式(費目名)	丸め